

## 北アルプス 白馬乗鞍岳

福永

【日時】 2010年12月18日（土）～19（日）

【メンバー】L田邊 藤岡 金沢 國田 福永

今シーズン初の雪山は白馬。計画は白馬岳から小蓮華岳へ変更になり、最終的には白馬乗鞍岳まででしたが、青空の下、ラッセルで雪まみれになり気持ちの良いスタートを飾ることができました。

### 12月18日（土）小雪

深夜到着だったので朝ゆっくり起きたら降り続く雪に柵池のスキー場はスノーボーダーやスキーヤーでいっぱい。ゴンドラを降りゲレンデ脇から単調な林道。ワカンで潜らせないようにひたすら歩きました。足元ばかりみていたらロープウェイ降車駅を見逃し、気がついたら柵池ヒュッテまで来ていました。10分ほど戻ると、成城大学小屋に続く踏み後がありました。小屋前で会った山スキーの三人組によると、藪が濃くて途中で引き返してきたとのことでした。

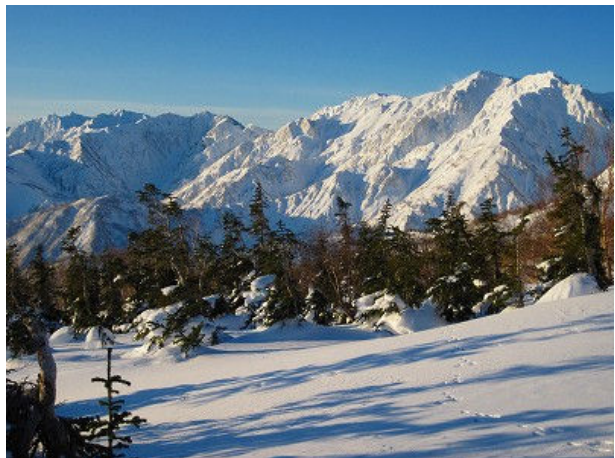
三人組のトレースが消えた後は、大変でした。今まで大したラッセルを経験してなかった私は10歩進むだけで足が出なくなり、ホープ金沢さんが長く頑張っている姿に圧倒されていました。田邊さんによるとお尻の筋力不足とのことでした。

風は無いけれど、弱く雪は降り続いていました。ようやく天狗原に続く尾根に乗ったという辺りで15時。6人テンに5人という贅沢な空間で寛ぎ、藤岡シェフによるお鍋を頂きました。藤岡さんのザックから出てくる大量の野菜にはびっくり。お鍋のメが温麺だったのは再びびっくりでしたが美味しかったです。

### 12月19日（日）晴れ

3:30起床。風のない穏やかな星空。満月に近い明るい月がなければ満天の星空が見えたはず。天狗原に着いたら、雲一つない最高の快晴。五竜から白馬までかっこいい山並みが見えました。時間的に小蓮華までは行けないので白馬乗鞍へのルートを確認して、あとはひたすらラッセルです。足が長い藤岡さんのセカンドは少々大変でした。

白馬乗鞍岳の山頂は大して雪が





ついてなく、夏道も分かるくらいでした。目の前に迫る真っ白な白馬岳、いつかこの季節に行ってみたいものです。

下り始めたらスキーヤーが続々と登ってきました。ラッセルのお礼を言って下さる方が多かったです。自分が逆の立場だったら絶対お礼を言わなければ、と気付くことができ良かったと思います。テントを回収し下るにつれて、出会うのは山スキーヤーだらけ。梅池スキー場を後にし、穴場のガーデンの湯で汗を流して帰宅の途につきました。

### 【行程】

12/18 梅池スキー場ゴンドラ終点 (11:00) ~C1 (15:00)

12/19 C1 (5:50) ~天狗原 (7:30) ~白馬乗鞍岳 (10:00) ~C1 (11:30)



～梅池スキー場ゴンドラ終点 (14:00)

【地形図】白馬岳